

大阪市立

市岡中学校



所在地 〒552-0003 港区磯路1丁目5番21号

TEL 06-6572-7231

FAX 06-6572-2768

校長名 永澤 良司 (ながさわ りょうじ)



学校の紹介・校長メッセージ

本校は昭和22年4月の学制改革に伴い、大阪市立港第一中学校として開校した港区で一番歴史と伝統のある中学校です。現在までに卒業生総数は、27,477名にのぼります。校訓「明るく」「強く」「正しく」の精神のもと、「新しい価値の創造」「自己コントロール」「他者とのつながり」を3つの軸として、生徒および全教職員が一丸となり、授業に各種の学校行事にと熱心に取り組んでいます。また、本校には「日本語指導が必要な子どもの教育セン

ター校」として、大阪市内の中学校から日本語の勉強のためにたくさんの生徒が日本語教室(略称)に通級してきています。

校内外共に、落ち着いた雰囲気の中で生徒は学習活動に取り組んでおり、学校内に居場所を設け、不登校生徒等の多様な学びについても推進しています。

校訓

「明るく」「強く」「正しく」

学校教育目標

『自律した個人として自己を確立させ、他者と協力し、これからの社会を担うことをめざさせ、心豊かに力強く生き抜く力を育む』

目指す子ども像

『夢と希望を持ち、自ら未来を切り拓き、地域を愛し、地域に頼られる生徒』

つきたい力

『学力、体力の充実を基本とし、自ら課題を見つけ考え判断し行動する力。自己を表現する力。他者と協力する力。』

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を85%以上にする。
- 年度末の校内調査における不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査における「自分には、良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を50%以上にする。
- 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均

点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より0.05ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]
- 地域の人と協働し、学校内居場所事業「はとばカルツチャ」を週に1回程度開催し、生徒の自己有用感を高める。

●令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

平均正答率(%)		平均IRTスコア
国語	数学	理科
52	40	468

令和7年度の全国学力・学習状況調査の結果は、国語の正答率が市平均と同じという結果となった。学力

向上推進事業、習熟度別少人数授業の取り組み等が結果につながりつつある。しかし、引き続き漢字検定に組み込み基礎学力の定着を図っていく。

数学の正答率は、市平均より6ポイント低い結果となった。チームティーチングを取り入れ支援していく必要性を感じる。

どの教科においても授業形態を改革し、『教え』から『学び』をキーワードとし、一斉授業に話し合う活動を取り入れ、単純な知識の詰め込みではなく、自ら考え、それを学び

あう機会を増やしている過程にある。

さらに、すべての教室の前面にある黒板(本校はホワイトボード)周辺の掲示物を外し、生徒が黒板に集中できるようにし、学習の「めあて」と「ふりかえり」を意識した授業を、学校全体で進め、こうした授業のありかたを「市岡中スタンダード」としている。また、教室に入りづらい生徒への学習支援のために学びサポーターや区の学校支援サポーターを配置するなど、様々な課題を持つ生徒に対し、個別最適なアプローチをしていることも本校の大きな特徴である。

●令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	28.56	25.54	43.09	53.42	79.80	8.09	190.15	20.92	41.56
女子	23.11	21.38	44.35	47.64	50.61	9.03	166.00	13.49	48.30

「反復横とび」「ハンドボール投げ」の2種目については男女ともに、全国平均を上回ることができた。また、生徒質問紙の「運動やスポーツをすることが好きですか。」の設問に、肯定的回答は男子が80%、女子が73.7%で男女とも全国平均を下回る結果となった。

本校では、毎時間のラジオ体操、補強運動等の準備運動の取組を、自他ともに点検することから始めている。技能を高めるために相互点検することで、適切な判断力および他者に伝えるための

表現力を養うことを目的として取り組んでいる。さらに、昼休みは、クラスに割り当てられたドッジボールとバレーボールで遊べるようにした。以前はドッジボール2球であったが、バレーボールに変更したことにより、女子がグラウンドに出て遊ぶ姿も多く見られるようになった。

本校には8年前より「はとばカルッチャ」という中学生が少しくつろげる空間を備えた居場所を設けています。「はとばカルッチャ」は毎週木曜日の昼休みと放課後、市岡中学校の学校図書館で開催しています。(Study Roomで開催される場合もあります)誰でも気軽に立ち寄れる場所です。

本を読んだり、おしゃべりしたり、絵を描いたり、カードゲームをしたり、もちろん勉強をしてもOK。学校に居場所があることで、生き辛さを感じている多くの中学生が、自己実現に向かって歩むことができています。

「はとばカルッチャ」が開設された当初、中学生として参加していた人が、卒業後スタッフとして取組に参加する等、地域の居場所としても新たなステージに入っています。



●卒業後の主な進路【過去3年間】

卒業生 令和5年度193名、令和6年度194名、令和7年度156名

進路先の人数は過去3年間の累計で表示

国公立高校等

旭(6)、芦間、阿倍野(2)、生野(2)、泉尾工(18)、市岡(27)、今宮(5)、今宮工(6)、桜和(8)、大阪公立大高専、大阪わかば、大手前(5)、OBF(10)、春日丘(2)、河南、教育センター附属(3)、京都工学院、柴島(5)、工芸(2)、高津(4)、港南造形(3)、佐賀工業、咲くやこの花(10)、桜宮(6)、清水谷(4)、吹田(4)、住吉(6)、成城(5)、泉北、泉陽、大正白稜(4)、中央(3)、豊島(3)、天王寺、登美丘、長野県小諸義塾、難波支援(4)、西成(10)、西野田工、日新、花園(4)、汎愛(3)、阪南(3)、東(4)、東住吉(4)、東淀川(5)、福井、布施(2)、三国丘(2)、港(19)、都島工(5)、桃谷(通)、桃谷(定)、守口東、八尾(3)、夕陽丘(3)、淀川工科、淀商(9)

私立高校等

あべの翔学(7)、稲葉学園、上宮(12)、上宮太子、英真学園、追手門学院(2)、追手門学院大手前(5)、大阪(11)、大阪借星(7)、大阪学院大(11)、大阪学芸(2)、大阪暁光(3)、大阪女学院、大阪信愛学院(2)、大阪成蹊女子(4)、大阪電通大(6)、大阪桐蔭(2)、大阪立命館、大手前高松、関西学院高等部(2)、関大高等部(2)、関大第一(5)、関大北陽(2)、近大泉州、近大附(11)、金蘭会(5)、倉吉北、啓明学院、賢明学院(2)、興國(10)、好文学園(4)、神戸弘陵学園、金光大阪(7)、金光藤蔭(10)、三田松聖、常翔学園(8)、常翔啓光(3)、城星(2)、城南学園(2)、昇陽(10)、精華、星翔、済美、清風、宣真(2)、相愛、大産大附(9)、大商学園(2)、大商大(9)、大商大堺、大体大浪商、天理、東海大仰星、東海大熊本星翔、東海大静岡翔洋、東邦、浪速(12)、羽衣(6)、初芝立命館、阪南大(6)、プール(3)、箕面学園、明浄(3)、明星、桃山学院(4)、山梨学院、夕陽丘学園(9)、履正社(3)、立正大湊南

専修学校等

飛鳥未来、あすなろ高等専修、WILL学院、英風、英風女子(2)、S高(2)、N高(3)、大阪スクールオブミュージック、大阪つくば開成(3)、大阪美容、科学技術学園、クラーク記念国際、第一学院、東朋(4)、ヒューマンキャンパスのぞみ、ルネサンス大阪(8)、その他(4)

学校名等の後ろの()内は2名以上の進学者等の人数を表示しています。